

TV 報道検証【報道特集】 報告書

|   |          |                      |
|---|----------|----------------------|
| テレビ局： TBS   | 番組名：報道特集 | 放送日： 2018 年 9 月 22 日 |
| <p>出演者：金平茂紀、日下部正樹、膳場貴子、日比麻音子<br/>                 ゲスト：瀬戸雄二（ディレクター、里親についてを取材）<br/>                 ※金平キャスターはおやすみ</p>   |          |                      |
| <p>検証テーマ： 自民党人事、米中通商関係、司法副長官がトランプ解任を画策か、海上保安学校卒業式<br/>                 香港と中国本土をつなぐ高速鉄道開通、イランで武装グループが銃乱射事件、防衛省と大学<br/>                 【特集】 蜜月アピールの南北首脳</p>  |          |                      |
| <p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大坂なおみ決勝進出</li> <li>・雨の中青森県で4台の車が事故で4人死亡</li> <li>・奈良県奈良市、雑炊した革に高齢夫婦の車が転落</li> <li>・仙台市の警官刺殺事件、自転車で逃走の計画か</li> <li>・東京都町田市の高齢女性殺害事件、女性の頭髪の間から黒いネジのようなものが発見される</li> <li>・自民党人事</li> <li>・米中通商関係</li> <li>・司法副長官がトランプ解任を画策か</li> <li>・大阪の酒造会社（堂島麦酒醸造所）が日本発でイギリスに酒蔵を開く</li> <li>・海上保安学校卒業式</li> <li>・気仙沼市で2年ぶりの恒例のサンマまつり</li> <li>・香港と中国本土をつなぐ高速鉄道が開通</li> <li>・イランで武装グループが銃乱射事件</li> <li>・防衛省と大学</li> <li>・秋の交通安全運動、山本恵里伽アナが一日警察署長に</li> <li>・【特集】 蜜月アピールの南北首脳</li> <li>・【特集】 里親、家庭的養育を求めて</li> <li>・スポーツ報道</li> </ul> |          |                      |
| <p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自民党人事：結論→特に問題なし<br/>                     自民党総裁選への立候補を断念した岸田政調会長は自らの派閥を上げて安倍総理を支持し昨日は早速総理官邸を訪ね安倍総理と人事などの意見交換を行ったとのこと、再選後の会見で安倍総理は政府や党幹部の骨格を維持することを表明していて総裁選で貢献した岸田氏を政調会長に留任させる方針を固めたとのこと、安倍総理は明日からアメリカを訪問する予定ですが来月1日から2日に内閣改造と党役員人事を検討していて今月28日に帰国後、30日投開票の沖縄県知事選挙の情勢なども考慮しながら、最終的な日程を決めることとしているとことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は66秒で、放送法上の問題は特に見られなかった。</li> <li>・米中通商関係：結論→特に問題なし<br/>                     ウォールストリート・ジャーナルの電子版は21日、中国政府が来週後半に再開される予定だったアメリカと</li> </ul>                           |          |                      |

の貿易をめぐる閣僚級協議を取りやめると報じた他ロイター通信もホワイトハウス高官が中国側との競技の日程について発表する内容はなにかたつたと伝えたとのこと、アメリカ側は中国への第三弾の制裁とした来週二十四日から 2000 億ドル相当の輸入品に追加関税を課す方針を発表し中国側も報復措置を発表しているとのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 62 秒で、放送法上の問題は特に見られなかった。

・司法副長官がトランプ解任を画策か：結論→特に問題なし

アメリカのローゼンスタイン司法副長官が去年の春、憲法の規定に基づいてトランプ大統領を事実上、解任することを画策していたとニューヨークタイムズが報じたことが伝えられた。また、副長官本人は「記事は不正確で間違っている」と否定しているとのこともあわせて伝えられたほか、アメリカの憲法では副大統領や閣僚らの過半数が大統領が職務を遂行できないことを議会に申し出ると副大統領が大統領職を継ぐことなどが規定されている、というアメリカの憲法についても説明された。このトピックについて当てられた時間は 57 秒で、放送法上は特に問題は見られなかった

・海上保安学校卒業式：結論→特に問題なし

都府舞鶴市にある海上保安学校では卒業式が行われ 235 人の学生が巣立ち今後は全国各地の現場に赴任すること、海上保安学校は海の安全を守る海上保安官を要請するための学校で学生たちは寮生活を送りながら専門知識などを習得してきたということが伝えられた。このトピックについて当てられた時間は 30 秒で、放送法上の問題は見られなかった。

・香港と中国本土をつなぐ高速鉄道開通：結論→特に問題なし

香港と中国本土を結ぶはじめての高速鉄道の開通式が行われ、明日には全線開通する広深港高速鉄道により香港から乗換なしに北京や上海に行くことが可能となる一方で香港側の駅で中国の職員が中国の法律に基づき出入境審査などを行うため一国二制度に反するという声も上がっているとのことが報じられた。このトピックについて当てられた時間は 32 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・イランで武装グループが銃乱射事件：結論→

イランの国営通信によりますと 22 日南西部アフズで軍事パレードの最中に武装グループが銃を乱射し複数の死傷者が出ているとのこと、地元メディアでは武装グループはオートバイに乗った二人組で観覧席の後ろから銃撃を行ったと伝えられているとのことが報じられた。また、これまでのところ犯行声明などは出されていないこと、銃撃事件当時はイラン・イラク戦争の開戦日を記念する軍事パレードが行われていたとのことも伝えられた。このトピックについて当てられた時間は 49 秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

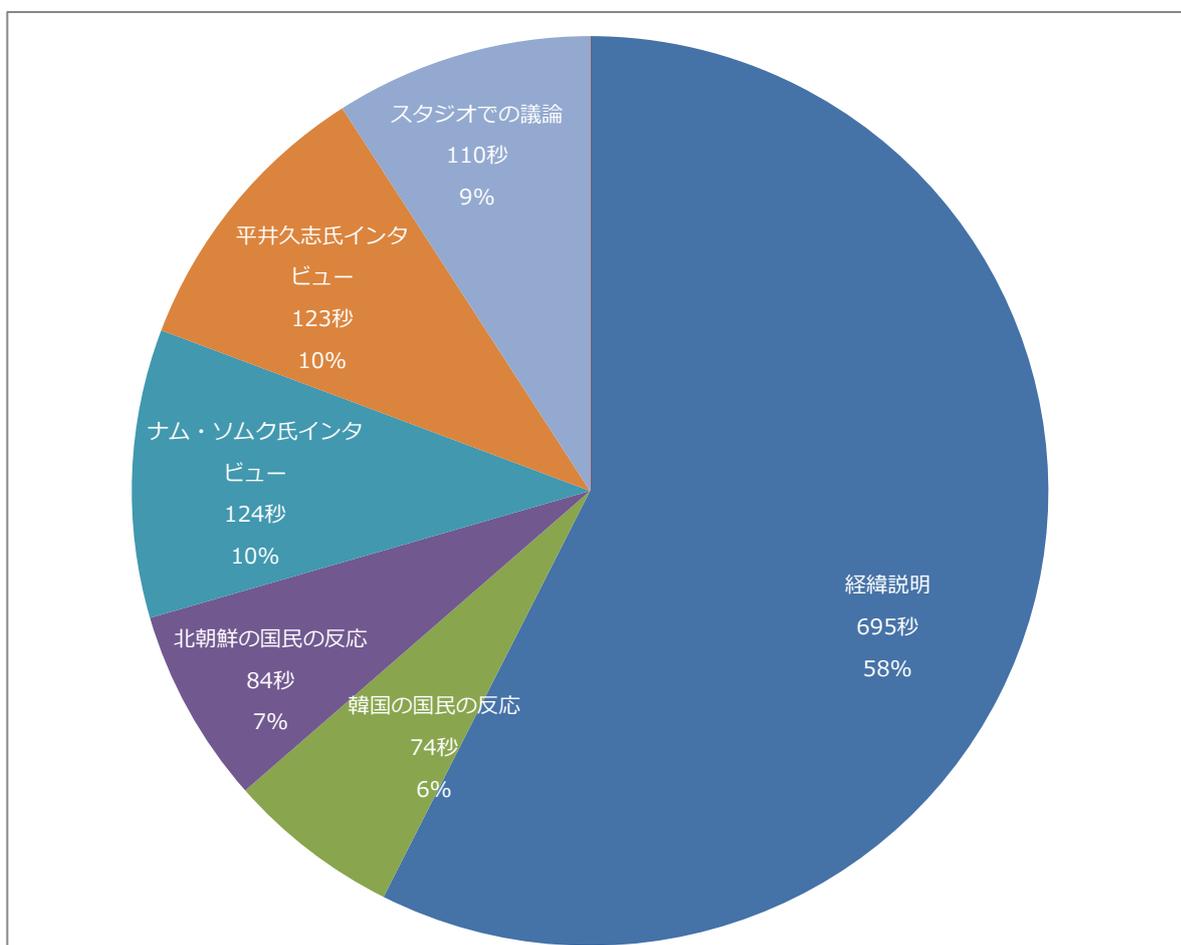
・防衛省と大学：結論→いささか不十分

防衛省が大学などの研究を助成する制度について軍事研究に繋がりがねないとの懸念の声が上がる中、全国の大学・研究機関のおよそ四分の三がこの制度に応募を認めなかったとしていることがわかったとのこと、科学者の代表機関である日本学術会議は去年 3 月にこの制度が軍事研究に繋がりがねないなどとして制度への応募に否定的な声明を出したこと、北海道大学が今年途中で助成を辞退したことが明らかとなっていることが報じられた。また、安全保障と学術に関する検討委員会の杉田敦委員長の「この声明、報告を大変真剣に受け止めていただいで各大学真剣に取り組んでいただいている。」というコメントのシーンが取り上げられていた。

このトピックについて当てられた時間は 80 秒だった。基本的に防衛省の大学助成は軍事研究に繋がりがねないので反対という論調の報道であったが、防衛省がそうした制度を導入した背景や、この制度への応募を認めている四分の一の大学・研究機関の紹介などはされておらず、軍事研究は悪いことだということが自明の前提であるかのような報じられ方がしていた。このトピックに当てられた時間自体が少ないながらも、放送法第四条、とりわけ一項二号の「政治的に公平であること」や同四号の「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」という点ではいささか不十分といえるものであった。

・【特集】 蜜月アピールの南北首脳：結論→特に問題なし

蜜月をアピールした南北首脳について特集されていた。特集では首脳会談やそれに対するアメリカの反応などの経緯の紹介、韓国の人々の反応、北朝鮮の人々の反応、高麗大学行政専門大学院で北朝鮮の専門家である南成旭院長へのインタビュー、北朝鮮情勢の専門家である平井久志氏へのインタビュー、スタジオでの議論という 6 つの場面に大別された。それぞれの場面の時間配分及び比率は以下の通りであった。



経緯説明では南北首脳会談で南北の融和的なムードが醸成されている様子やそれをアメリカのトランプ大統領が歓迎の意を示していることなどが伝えられた。

韓国の国民の反応では、以下に朱記した 2 つのシーンが取り上げられていた。

【インタビュー 1】

ナレ「一方南北会談は金正恩を利するだけだ。と反対する人たちもいた。」

脱北者イ・ウンギルさん (字幕)「韓国人拉致被害者も救出できていないし、軍事的挑発に関して、謝罪も受けていません。文大統領が米朝の仲介を行う？話になりません。」

デモの参加者（字幕）「核が重要なのではなく、金正恩政権が倒れなければなりません。そうじゃないと核はなくなりません。」

#### 【インタビュー2】

国民（吹替）「南北関係がうまくいくようでとてもうれしいけれど、少し心配な面もあります。韓国に求めているものは何なのか、見極めて対応すべきだと思います。」

日下部「実際、北朝鮮は核兵器を放棄すると思いますか？」

男性（吹替）「長い時間をかけて自衛のために開発を続けてきた核兵器をいきなり手放すでしょうか。核兵器をすぐに放棄するとはとても信じられません。」

北朝鮮の国民の反応では以下に朱記したシーンが取り上げられていた。

ナレ「一方熱烈な歓迎ぶりを見せた北朝鮮の人々だが、本音はどうか。北朝鮮内部の取材を続けるアジアプレスは昨日現地の取材協力者に SNS を通じて聞いた。文大統領については」

取材協力者（SNS・字幕・吹替）「おじいさんのようでした。年の差があって。それでも統一のために一生懸命な姿がよかったです。」

ナレ「北朝鮮住民の多くは経済制裁で悪化した生活が、改善するかどうかに関心を寄せている。」

取材協力者（SNS・字幕・吹替）「みんな経済援助してくれるという言葉を期待していたので残念です。まだここでは核強国だと自慢しています。苦勞して作ったのに放棄すると思いますか？しませんよ。私としては放棄してしまって静かに商売出来たら素晴らしいと思います。上の人たちはどうするつもりなのか」

高麗大学行政専門大学院で北朝鮮の専門家である南成旭院長へのインタビューでは以下に朱記したやりとりが取り上げられていた。

ナレ「朝鮮民族の聖地とされる白頭山。南北の首脳はここでも互いの手を取り合った。今回の南北会談で最大の焦点だった非核化は前進するのか？北朝鮮の専門家であるナム・ソムク氏に聞いた。」

日下部「今回の南北首脳会談、百点満点で何点ぐらいの結果だったと思いますか？」

南成旭院長（字幕・吹替）「非核化は落第ですね。」

ナレ「共同宣言では寧辺の核施設について、アメリカが相応の措置を取れば廃棄。と条件がつけられた。ナム氏は相応の措置とは朝鮮戦争の終戦宣言のことだとみている。」

南成旭院長（字幕・吹替）「終戦宣言をすれば、寧辺の核施設を廃棄するということ。寧辺の施設は核の製造工場や研究所です。今後、これ以上核兵器を造れなくなりますが、すでに製造された核兵器とは全く別の話です。」

ナレ「アメリカは北朝鮮に対して、全ての核関連施設のリストの申告、さらには非核化への工程表の提出などを要求などを求めているのだが、」

南成旭院長（字幕・吹替）「アメリカが要求している申告や査察は今回の会談の合意文に全く入っていません。これでアメリカを説得するのは簡単ではないでしょう。」

北朝鮮情勢の専門家である平井久志氏へのインタビューでは以下に朱記したやり取りが取り上げられていた。

ナレ「一方北朝鮮情勢に詳しい平井久志氏は東倉里のミサイル発射台を廃棄する狙いについてこう見ている。」

平井氏「東倉里の発射場っていうのはあの一長距離ミサイルを飛ばすところなんですよね。一番アメリカを攻撃するときに使われると思われるミサイル発射台を中止するという事はアメリカにとっては非常に意味のある場所なのでだからこそ例示的に今回、出してきたんだろうと思うんですね。」

平井氏「国際社会から見ればトランプ政権の他の人たちはアメリカのメディアから見ればこれはストライクゾーンに入っていないと思うんですね。でもトランプさんはこれを受けたという結果でそういう意味ではまあ北朝鮮の癖玉ではありましたが、この南北首脳会談を米朝首脳会談に続けることは成功したんじゃないのかなとい

う気はしますね。」

膳場「アメリカが求めている核施設の申告は盛り込まれていませんよね。これについてはどうぞ覧になりますか？」

平井氏「そうですね、私はあの北朝鮮はあの最後まで申告と査察っていうこのプロセスを省略したいんじゃないかなという気がしますね。それはなぜかという、まだアメリカとの敵対関係は解消されていないわけですね。その段階で例えば、核兵器や核物質がどこにいくらありますと公表するっていうことはまかり間違えれば、もう一度これが決別してですね、軍事的対立に戻っちゃうと、攻撃目標を教えるということと同じなわけですね。申告と査察っていうそういうプロセスを省略したですね、そういう非核化を彼らは考えているじゃないんだろうかっていう気がするんですね。」

スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられていた。

膳場「日下部さんは両首脳最初の会談でソウルに取材に行きましたけれども、三回目の今回の会談を受けて、韓国側はどんな空気だったですか？」

日下部「今回の首脳会談、直後のですね韓国の世論調査なんですけども、北朝鮮は合意を守るかとの問いにですね、49%の人は守ると答えているんです。これは4月の会談直後に比べると9ポイント下がって、まあ冷めた目も増えてますね。ただ会談自体についてはまだまだ多くの方が肯定的に見ているのが事実だと思いますね。あと取材して思うのはですね、我々外国人記者はですねどうしても南北問題は民族の問題でもあるという当然の視点を見失いがちなんですね。もちろん核問題というのは大切ですけども、二人のリーダーが白頭山と一緒に登ったというのはですね民族にとっては大きな進歩で多くの韓国人々はここまで来たかと感慨を覚えたとおもいますけどね。」

膳場「あの平井久志さんがおっしゃってましたけれども、今回北朝鮮は国際社会が認めるような非核化のプロセスは提示しなかった、にも関わらず、中間選挙を控えるトランプ大統領はそのボールをうけとったと。あの今後の非核化の実現についてはどういう風に思われますか？」

日下部「あの文大統領が来週国連総会出席のためアメリカに行ってトランプ大統領とも会談するんですね。もしかすると金正恩委員長のメッセージを伝える可能性もあるわけです。中間選挙を前にですね、トランプ大統領非常に前のめりなんで、対話についてはですね動き出すかもしれません。ただ中間選挙の結果によってはですね、トランプ氏の意欲が急速に失われる、その可能性もあってですね非核化の実現となると、超えるべきハードルはまだまだあるなという感じはします。」

この特集では、放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・番組

今回は金平キャスターがおやすみだったため、オープニングでの金平キャスターの言いつばなしというのがなかったこともあり、トピックに対して予断を与えるような部分は見られなかった。